

委託事業実施内容報告書

平成25年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 小松市国際交流協会

1. 事業名称

「小松市地域日本語推進事業」

2. 事業の目的

小松地区唯一の日本語教室開催地として、在住外国人が日本でも豊かな生活が送れ、多文化共生社会の推進が図れるよう引き続き在住外国人の日本語力向上を目指し生活に密着した、より実践的な日本語教室を開催し、在住外国人が地域参加できるよう推進する。
そのためにも日本語指導者のスキルアップ及び新規指導者の養成を図るものである。更に今年度は小さなお子さんを抱えたおかあさんたちの現状にあった、日本で子育てをしていくうえで必要な日本語教育を行い、そのための教材・教案の作成も行う。

3. 事業内容の概要

昨年度の日本語教室を振り返ると、学習の継続がなかなか難しいことが判明した。そこでカリキュラムの見直しを行い開催時期・曜日・時間帯や受講者のニーズに合った日本語教室の運営を行う。
また、小さなお子さんを抱えたおかあさん対象のクラスには託児を設け、安心して学習できるよう環境づくりも行う。人材育成に関しては、昨年の日本語講師養成講座終了時には次のステップへ進みたいという受講者が少なく、指導者不足の解消が難しいため新たな養成講座を行い人材の確保に努める。
また、スキルアップ講座も同時に行い現職の指導者の更なるレベルアップを目指す。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年7月 21日 14:00～16:00	2時間	こまつまちづくり 交流センター	志村 恵 今井 武 村上 洋子 北川 雅恵 綾 美寿恵 グラッシ 徳子 本田 昌代	・運営委員メンバー紹介 ・実施内容や日程について	・日曜クラスは学習者の年齢層が10代～50代と広く、若い世代にはいい刺激になっているようである。 ・小さいお子さんがいるおかあさんたちの中には足がない(交通手段)がない人が多くいる。対処法を早急に考える必要がある。地区の公民館などを利用してはどうか。
2	平成25年11月 10日 14:00～16:00	2時間	こまつまちづくり 交流センター	志村 恵 今井 武 村上 洋子 北川 雅恵 綾 美寿恵 グラッシ 徳子 本田 昌代	・中間報告、課題	・地域の行事に参加し歌や劇の発表をしたり、行政主催の俳句コンテストに応募したりと地域の人と交流する機会をたくさん取り入れている。 ・おかあさんたちの仕事復帰が思ったより早く学習者が減少してきている。
3	平成26年1月 17日 14:00～16:00	2時間	こまつまちづくり 交流センター	志村 恵 今井 武 村上 洋子 北川 雅恵 綾 美寿恵 グラッシ 徳子 本田 昌代	・最終報告、課題・反省点	・どのクラスにも共通していることだが、就労目的の学習者が多く、仕事がないと他府県へ移動してしまい学習者が減少してしまう。 ・おかあさんクラスの学習者の仕事復帰が早く、学習者の減少につながっている。 ・日本語講師養成講座は今後も継続していく必要がある。

5. 日本語教室の実施

- (1) 講座名称 「小松市 外国人のための生活に困らない日本語Ⅱ(上級)」
- (2) 目的・目標 地域行事へ参加するなど地域での暮らしに密着した交流・体験ができるよう更なる日本語のレベルアップを目指す。
- (3) 対象者 日本語上級レベルの在住外国人
- (4) 開催時間数(回数) 64 時間 (全32回)
- (5) 使用した教材・リソース 小松市国際交流協会で作成したもの
- (6) 受講者の総数 19 人
 (出身・国籍別内訳 ブラジル 7人、オーストラリア 1人、マレーシア 1人、ベトナム 4人、中国 2人、アメリカ1人、韓国 1人、インドネシア 1人、タイ 1人)
- (7) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名
1	平成25年6月30日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	ブラジル (6)、オース トラリア(1)、マ レーシア(1)、 中国(2)、 ベトナム(2)	自己紹介	自己紹介及び他己紹介、授 業のすすめ方、守るべき ルールなど	中村 知恵
2	平成25年7月14日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	ブラジル (6)、オース トラリア(1)、マ レーシア(1)、 中国(2)、 ベトナム(1)	あいづち	会話の中での、あいづちの 役割を確認し、スムーズな会 話になるように心がける	牧本 暢子
3	平成25年7月21日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	13人	ブラジル (8)、オース トラリア(1)、マ レーシア(1)、 中国(1)、 ベトナム(2)	図書館を利用 しよう	地域の図書館の利用方法を 学ぶ	村上 洋子
4	平成25年7月28日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	13人	ブラジル (7)、オース トラリア(1)、マ レーシア(1)、 中国(2)、 ベトナム(2)	図書館を利用 しよう	実際に図書館に出向き、借 り方、使い方を学ぶ	牧本 暢子
5	平成25年8月4日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	ブラジル (5)、オース トラリア(1)、マ レーシア(1)、 中国(2)、 ベトナム(2)	音読をしよ う	小学生が使う国語の教科書 を用いて、音読の練習をし る	村上 洋子
6	平成25年8月11日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	ブラジル (7)、オース トラリア(1)、中 国(2)、ベト ナム(2)	音読をしよ う	擬音語、擬態語について学 ぶ	村上 洋子
7	平成25年8月18日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	ブラジル (6)、オース トラリア(1)、マ レーシア(1)、 中国(2)、 ベトナム(1)	音読をしよ う	特殊音の発音に気をつけ て、紙芝居を読む	村上 洋子
8	平成25年8月25日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	ブラジル (6)、オース トラリア(1)、マ レーシア(1)、 中国(1)、 ベトナム(2)	劇をしよ う	「トイレの神様」の歌を聞いて ストーリーを学ぶ 劇の 台本を考える	村上 洋子
9	平成25年9月1日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	ブラジル (6)、マレーシ ア(1)、中国 (2)、ベトナム	劇をしよ う	交流会で発表する劇の練習 をする	村上 洋子
10	平成25年9月8日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10人	ブラジル (6)、マレーシ ア(1)、中国 (2)、オース トラリア(1)	日本の料理 を作る	料理のレシピを見ながら、料 理が作れるように、料理に必 要な語彙や、動作を覚える	牧本 暢子

11	平成25年9月15日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	13人	ブラジル (5)、マレー シア(1)、中国 (2)、オース トラリア(1)、ベ トナム(3)、タ	日本の料理 を作る	調理実習をしながら、料理の 作り方を実践で学習する	牧本 暢子
12	平成25年9月22日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10人	ブラジル (5)、中国 (1)、オース トラリア(1)、ベ トナム(2)、タ	自分の国の 料理をとも だちに教え よう	自分の国の料理をともだち に紹介できるように、レシピ を書いてみる	村上 洋子
13	平成25年9月29日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	ブラジル (6)、中国 (1)、オース トラリア(1)、ベ トナム(3)、タ	お便りをよ もう	学校行事を知り、学校行事 に理解を深める	村上 洋子
14	平成25年10月6日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	ブラジル (6)、中国 (1)、オース トラリア(1)、ベ トナム(2)、タ イ(1)、マレー シア(1)	お便りをよ もう	学校のお便りを見て、お便り の形式や、読み方を知る	村上 洋子
15	平成25年10月13日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	ブラジル (5)、中国 (1)、オース トラリア(1)、ベ トナム(2)、タ イ(1)、マレー シア(1)	お便りをよ もう	実際のお便りを集めて、どん なことを読み取ればいいのか を知る	牧本 暢子
16	平成25年10月20日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10人	ブラジル (5)、オース トラリア(1)、ベ トナム(2)、タ イ(1)、マレー シア(1)	非常のとき に	地震、大雨などのときに、ど のように適切に対処したらい いかを知る	中村 知恵
17	平成25年10月27日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10人	ブラジル (5)、オース トラリア(1)、ベ トナム(2)、タ イ(1)、マレー シア(1)	非常のとき に	消防本部に出かけて、消防 の人の話を聞く	多島 智枝
18	平成25年11月3日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	ブラジル (5)、オース トラリア(1)、ベ トナム(2)、タ イ(1)、マレー シア(1)、中 国(2)	応急手当	日常生活で起こる子供の怪 我や急病の対処の仕方を学 ぶ	村上 洋子
19	平成25年11月10日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	ブラジル (6)、オース トラリア(1)、ベ トナム(1)、タ イ(1)、マレー シア(1)、中 国(2)	応急手当	消防本部で、救急隊の人と 119の電話のかけ方や対処 の方法を学ぶ	牧本 暢子
20	平成25年11月17日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	13人	ブラジル (6)、オース トラリア(1)、ベ トナム(2)、タ イ(1)、マレー シア(1)、中 国(2)	俳句	俳句を作る上で必要なルー ルを学ぶ	牧本 暢子

21	平成25年11月24日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	14人	ブラジル (6)、オーストラ リア(1)、ベ トナム(2)、タ イ(1)、マレー シア(1)、中 国(2)、イン ドネシア(1)	俳句	小松市のコンテストに応募 する俳句を作る	村上 洋子
22	平成25年12月8日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	ブラジル (5)、ベトナム (2)、タイ (1)、中国 (2)、インド ネシア(1)	スピーチ	スピーチの書き方を学ぶ	シケイラ ロボ 初音
23	平成25年12月15日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10人	ブラジル (5)、ベトナム (2)、タイ (1)、中国 (1)、インド ネシア(1)	スピーチ	スピーチコンテストで発表す るスピーチの内容を考える	グラッシ 徳子
24	平成25年12月22日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	ブラジル (5)、ベトナム (2)、中国 (1)、インド ネシア(1)、オ ーストラ リア(1)、マレー シア(1)	スピーチ	スピーチ発表の練習	グラッシ 徳子
25	平成26年1月5日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	13人	ブラジル (5)、ベトナム (3)、中国 (2)、インド ネシア(1)、オ ーストラ リア(1)、マレー シア(1)	正月行事	一年の計画を立てる 日本 の伝統的なお正月行事を体 験する	中村 知恵
26	平成26年1月12日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	ブラジル (5)、ベトナム (1)、中国 (2)、アメリカ (1)、オース トラリア(1)、マ レーシア(1)、	正月行事	おみくじの読み方を学び、神 社に参拝する	中村 知恵
27	平成26年1月19日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10人	ブラジル (4)、ベトナム (1)、中国 (1)、アメリカ (1)、オース トラリア(1)、マ レーシア(1)、 タイ(1)	CM	CMの構成について学ぶ 自分の国のCMと日本のC Mの違いを発表する	牧本 暢子
28	平成26年1月26日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	13人	ブラジル (4)、ベトナム (2)、中国 (2)、アメリカ (1)、オース トラリア(1)、マ レーシア(1)、 タイ(1)、韓	CM	自分の好きなCMをyou tube で紹介する	村上 洋子
29	平成26年2月2日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	ブラジル (4)、ベトナム (2)、中国 (2)、アメリカ (1)、マレー シア(1)、タイ (1)、韓国 (1)	CM	友達を日本語教室に誘うた めのCMを考える	村上 洋子

30	平成26年2月9日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	13人	ブラジル (5)、ベトナム (2)、中国 (2)、アメリカ (1)、マレーシ ア(1)、タイ (1)、韓国 (1)	CM	グループで内容や構成を考 える	牧本 暢子
31	平成26年2月16日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	ブラジル (5)、ベトナム (2)、中国 (2)、アメリカ (1)、マレーシ ア(1)、韓国 (1)	CM	実際にCMを撮ってみる	村上 洋子
32	平成26年2月23日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	ブラジル (5)、ベトナム (2)、中国 (2)、マレーシ ア(1)、韓国 (1)、タイ(1)	CM	小松市のHPに掲載してもら うため、提出できるようにC Mを構成する	村上 洋子

(8) 受講者の募集方法

既存の学習者からの口コミ、各種イベントでのPR、直接声かけ、国際交流関係諸団体への声かけなど。

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

11月10日 消防本部を訪問し、日常生活で起こる子供のけがや急病のときの119番への連絡の方法、応急処置の仕方を学ぶ。特に今回は、誤飲、やけど、止血、けいれん、夜間対応について実際に救急隊員の方から説明を聞き体験を交え訓練を受けた。

1月5日 日本のお正月を体験しよう。ということで、一年の目標を漢字一文字又は二文字で考えた。それを毛筆で書き初めした。かるたとりや、福笑いもして、日本のお正月を味わった。最後に、餅つきもした。



(10) 目標の達成状況・成果

ポートフォリオにより検証の結果、上級者は積極的に授業に参加し、達成感も高いことが分かった。小松市国際交流協会主催の交流会で劇の発表をし参加している地域住民と交流を図ったり、小松市主催の俳句コンテストに出品したり、製作したCMを小松市のHPに投稿したりと地域住民と同じように地域のいろいろな活動に参加することができた。ただ、受講者の多くは複数年の受講により、だんだんレベルも高くなり、新たな学習者をこのクラスに入れることが難しくなっていることと、今後の目標設定が課題である。

(11) 改善点について

このクラスは上級レベルであり、昨年に引き続き受講する学習者がほとんどであった為、消防や警察などの前年にも行っているクラスでは、内容が重複しないように工夫が必要であった。話すうえではほぼ問題がないのであるが、生活者として、日本で生きていくうえで、やはり、読み書きは欠かせないので、その点を今後考えていかなければならない。

- (1) 講座名称 「小松市 外国人のための生活に困らない日本語Ⅱ」
- (2) 目的・目標 地域行事へ参加するなど地域での暮らしに密着した交流・体験ができるよう基本的な日本語の習得を目指す。
- (3) 対象者 日本語初級レベルの在住外国人
- (4) 開催時間数(回数) 64 時間 (全32回)
- (5) 使用した教材・リソース 自作教材、みんなの日本語初級Ⅰ
- (6) 受講者の総数 18 人
(出身・国籍別内訳 ベトナム 2人、中国 1人、ブラジル 5人、アメリカ 3人、タイ 5人
インドネシア 2人)
- (7) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名
1	平成25年6月30日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	ブラジル (4)、ベトナム (2)、中国 (1)、アメリカ (1)、タイ(3)	あいさつ	あいさつの種 類と目的を理 解する	グラッシ 徳子
2	平成25年7月14日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	ブラジル (4)、ベトナム (2)、中国 (1)、アメリカ (1)、タイ(3)	自己紹介	簡単な自己紹 介ができる	グラッシ 徳子
3	平成25年7月21日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10人	ブラジル (4)、ベトナム (2)、中国 (1)、アメリカ (1)、タイ(3)	時間	時間を言える。 時間が聞ける	グラッシ 徳子
4	平成25年7月28日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	ブラジル (5)、ベトナム (2)、中国 (1)、アメリカ (2)、タイ(2)	目的地に移 動する	往来動詞が使 えるようになる	グラッシ 徳子
5	平成25年8月4日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	ブラジル (4)、ベトナム (2)、中国 (1)、アメリカ (2)、タイ(2)	目的地に移 動する	行きたい場所 に移動できる ようになる	グラッシ 徳子
6	平成25年8月11日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10人	ブラジル (4)、ベトナム (2)、中国 (1)、アメリカ (1)、タイ(2)	動作が言え る	生活に必要な 食べる、飲む、 寝る、起きるな どの基本動詞 が使えるように	グラッシ 徳子
7	平成25年8月18日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10人	ブラジル (4)、ベトナム (2)、中国 (1)、アメリカ (2)、タイ(1)	買い物しよ う	スーパーで買 い物をする	中村 知恵
8	平成25年8月25日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	ブラジル (4)、ベトナム (2)、中国 (1)、アメリカ (2)、タイ(2)	郵便局へ行 こう	郵便局で切手 を買ったり、荷 物を送ったりす る	グラッシ 徳子
9	平成25年9月1日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	ブラジル (4)、ベトナム (2)、中国 (1)、アメリカ (2)、タイ(3)	劇をしよう	Aクラスと一緒 に交流会の劇 の練習をする	グラッシ 徳子
10	平成25年9月8日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	ブラジル (4)、ベトナム (2)、中国 (1)、アメリカ (2)、タイ(3)	料理をつ くろう	料理に必要な 言葉を知る	グラッシ 徳子
11	平成25年9月15日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	ブラジル (3)、ベトナム (2)、中国 (1)、アメリカ (2)、タイ(3)	料理をつ くろう	Aクラスと一緒 に調理実習を する	中村 知恵

12	平成25年9月22日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	ブラジル (4)、ベトナム (2)、中国 (1)、アメリカ (1)、タイ(3)	物品を購入 する	必要なものを 売っている場 所を聞くこと ができる	グラッシ 徳子
13	平成25年9月29日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	ブラジル (4)、ベトナム (2)、中国 (1)、アメリカ (2)、タイ(2)	物品を購入 する	店員に商品に ついて尋ねる ことができる	天野 晴美
14	平成25年10月6日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	ブラジル (4)、ベトナム (2)、中国 (1)、アメリカ (2)、タイ(3)	物品を購入 する	商品の機能や 値段をきくこ とができる	グラッシ 徳子
15	平成25年10月13日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10人	ブラジル (4)、中国 (1)、アメリカ (2)、タイ(3)	物品を購入 する	必要なものを 選んで購入す る	天野 晴美 グラッシ 徳子
16	平成25年10月20日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	ブラジル (4)、中国 (1)、アメリカ (2)、タイ (3)、ベトナム	非常のとき に	消防署に行く 前の事前学習	多島 智枝
17	平成25年10月27日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	ブラジル (3)、中国 (1)、アメリカ (2)、タイ (3)、ベトナム	非常のとき に	消防署で防災 について聞く	グラッシ 徳子
18	平成25年11月3日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	ブラジル (3)、中国 (1)、アメリカ (2)、タイ (4)、ベトナム	応急手当	119に電話する	グラッシ 徳子
19	平成25年11月10日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	ブラジル (3)、中国 (1)、アメリカ (2)、タイ (3)、ベトナム	応急手当	消防署で応急 手当について 学ぶ	多島 智枝
20	平成25年11月17日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	ブラジル (3)、中国 (1)、アメリカ (2)、タイ (3)、ベトナム	住宅を探す	住宅について 希望や条件を 伝えることが できる	多島 智枝
21	平成25年11月24日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	ブラジル (4)、中国 (1)、アメリカ (2)、タイ (3)、ベトナム	引越しをし る	部屋にあるも のを言えるよ うにする	多島 智枝 シケイラ ロボ 初音
22	平成25年12月8日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10人	ブラジル (4)、アメリカ (1)、タイ (3)、ベトナム	レストランを 探す	希望の食べ物 のあるレスト ランを探す	グラッシ 徳子
23	平成25年12月15日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10人	ブラジル (4)、アメリカ (1)、タイ (3)、ベトナム	レストランで 食事をしよ う	メニューを見 て注文でき るようにす る	シケイラ ロボ 初音
24	平成25年12月22日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	ブラジル (4)、アメリカ (1)、タイ (3)、ベトナム (2)、中国	プレゼントを する	クリスマスの プレゼントを あげたりも らったりす るときの言 い方を学ぶ	シケイラ ロボ 初音
25	平成26年1月5日 9:30～11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	ブラジル (4)、アメリカ (2)、タイ (3)、ベトナム (2)、中国	お正月行事	日本の伝統 的なお正月 の行事を理 解し、体験 する	シケイラ ロボ 初音

26	平成26年1月12日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	13人	ブラジル (4)、アメリカ (2)、タイ (3)、ベトナム (2)、インドネ	お正月行事	おみくじにつ いて知り、Aク ラスと一緒に神 社に行く	多島 智枝
27	平成26年1月19日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	ブラジル (3)、アメリカ (2)、タイ (3)、ベトナム (2)、インドネ	自分の意見 を言う	自分の考えや 意見が伝えら れるようになる	多島 智枝
28	平成26年1月26日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10人	ブラジル (3)、アメリカ (2)、タイ (3)、インドネ	医療機関で 治療を受け る	医者に自分の 症状を伝えら れるようにする	グラッシ 徳子
29	平成26年2月2日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	ブラジル (3)、アメリカ (2)、タイ (3)、インドネ シア(2)、ベト	医療機関で 治療を受け る	問診票の書き 方を学ぶ	グラッシ 徳子
30	平成26年2月9日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	ブラジル (3)、アメリカ (2)、タイ (2)、インドネ シア(2)、ベト	薬の飲み方	医者でもらった 薬の飲み方が わかるように なる	シケイラ ロボ 初音
31	平成26年2月16日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	ブラジル (4)、アメリカ (1)、タイ (2)、インドネ シア(2)、ベト	ごみ問題	小松市のゴミ の分別が正し くできるように する	グラッシ 徳子
32	平成26年2月23日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10人	ブラジル (4)、アメリカ (1)、タイ (1)、インドネ シア(2)、ベト	CM	Aクラスが作成 したCMを共に 検証し、有効 的な使い方を 考える	グラッシ 徳子

(8) 受講者の募集方法

既存の学習者からの口コミ、各種イベントでのPR、直接声かけ、国際交流関係諸団体への声かけなど。

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

11月10日 消防本部を訪問し、日常生活で起こる子供のけがや急病のときの119番への連絡の方法や、応急処置の仕方を学んだ。特に今回は、誤飲、やけど、止血、けいれん、夜間対応について実際に救急隊員の方から説明を聞き体験を交え訓練を受けた。

1月5日 日本のお正月を体験しよう。ということで、一年の目標を漢字一文字又は二文字で考え、それを毛筆で書いた。かるたとりや、福笑いもして、日本のお正月を味わった。最後に、餅つきをした。



(10) 目標の達成状況・成果

ポートフォリオにより検証したところ、続けて来ている学習者に関しては満足度がかかなり高いという結果がでた。地域で開催される交流会などに参加し交流を図ることで少しずつ自分の日本語に自信ができてきたようであるが、今後更に地域参加できるよう、生活に密着した日本語習得を継続していく必要がある。また、クラスに来なくなった学習者に関しては、来ている友人に聞いたりするなど来なくなった理由などを検証方法も含め早急に検討する必要がある。

(11) 改善点について

消防署を訪問しての訓練などはとても役に立つものであるが、やはり日本語が難しく、事前学習はしていても上級者の通訳がなければ、とても大変であった。また、初級者であっても、今後日本で生活していくのであればある程度文字学習も必要であると実感した。今後カリキュラムを考えるうえで検討する必要がある。

(1) 講座名称 「外国人おかあさんのための生活に困らない日本語Ⅰ」 (初級クラス)

(2) 目的・目標 外国人おかあさんたちが子育てをしていくうえで必要な日本語、またニーズに合った日本語を習得し、地域社会の一員として豊かな生活が送れるようにする。

(3) 対象者 日本語初級レベルの在住外国人

(4) 開催時間数(回数) 64 時間 (全32回)

(5) 使用した教材・リソース 小松市国際交流協会で作成したもの

(6) 受講者の総数 21 人

(出身・国籍別内訳 ブラジル 11人、タイ 2人、中国 5人、マレーシア 2人、アメリカ 1人)

(7) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名
1	平成25年7月3日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	16人	中国(4)、 ブラジル (8)、タイ (2)、マレーシ	自己紹介	自己紹介及び 他己紹介	犬塚 則子
2	平成25年7月10日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	16人	中国(4)、 ブラジル (8)、タイ (2)、マレーシ ア(2)	あいづち	会話の中で の、あいづちの 役割を理解し、 友達との会話 で使ってみる	犬塚 則子
3	平成25年7月17日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	15人	中国(4)、 ブラジル (7)、タイ (2)、マレーシ	図書館を利 用しよう	地域の図書館 の利用方法を 学ぶ	犬塚 則子
4	平成25年7月24日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	16人	中国(4)、 ブラジル (8)、タイ (2)、マレーシ	図書館を利 用しよう	実際に図書館 に行き、利用し てみる	犬塚 則子
5	平成25年7月31日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	15人	中国(3)、 ブラジル (8)、タイ (2)、マレーシ	音読をしよ う	小学生が使う 国語の教科書 を用いて、音読 の練習をする	犬塚 則子
6	平成25年8月7日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	15人	中国(3)、 ブラジル (8)、タイ (2)、マレーシ	音読をしよ う	擬音語、擬態 語について学 ぶ	犬塚 則子
7	平成25年8月21日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	16人	中国(4)、 ブラジル (8)、タイ (2)、マレーシ	音読をしよ う	特殊音の発音 に気をつけて 読む	犬塚 則子 村上 洋子
8	平成25年8月28日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	15人	中国(3)、 ブラジル (8)、タイ (2)、マレーシ	音読をしよ う	気持ちを込め て紙芝居を読 む	村上 洋子

9	平成25年9月4日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	14人	中国(3)、 ブラジル (8)、タイ (1)、マレーシ	日本の料理 を作る	料理の言葉を 覚える	犬塚 則子
10	平成25年9月11日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	15人	中国(3)、 ブラジル (8)、タイ (2)、マレーシ	日本の料理 を作る	料理のレシピ を読めるように する	犬塚 則子
11	平成25年9月18日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	16人	中国(3)、 ブラジル (9)、タイ (2)、マレーシ	自分の国の 料理をとも だちに教え よう	自分の国の料 理を紹介する	犬塚 則子
12	平成25年9月25日 9:30~11:30	2時間	芦城センター	15人	中国(3)、 ブラジル (9)、タイ (2)、マレーシ	日本の料理 を作る	調理実習をし ながら、料理の 作り方を実践 で学習する	犬塚 則子
13	平成25年10月2日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	15人	中国(2)、 ブラジル (9)、タイ (2)、マレーシ	お便りをよ もう	学校行事を知 る	犬塚 則子
14	平成25年10月9日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	15人	中国(3)、 ブラジル (8)、タイ (2)、マレーシ	お便りをよ もう	学校のお便り を見る	中村 知恵
15	平成25年10月16日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	15人	中国(3)、 ブラジル (8)、タイ (2)、マレーシ	お便りをよ もう	実際のお便り を集めて、どん なことを読み取 ればいいのかを	犬塚 則子
16	平成25年10月23日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	14人	中国(3)、 ブラジル (7)、タイ (2)、マレーシ	非常のとき に	地震、大雨な どのときの表 現を知る	犬塚 則子
17	平成25年10月30日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	中国(3)、 ブラジル (7)、タイ (1)、マレーシ	非常のとき に	消防本部に出 かけて、消防 の人の話を聞 く	犬塚 則子
18	平成25年11月6日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10人	中国(1)、 ブラジル (5)、タイ (2)、マレーシ	応急手当	119番の電話 のかけ方を練 習する	中村 知恵
19	平成25年11月13日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	中国(2)、 ブラジル (6)、タイ (2)、マレーシ ア(2)	応急手当	消防本部で、 救急隊の人と 119の電話の かけ方や対処 の方法を学ぶ	犬塚 則子
20	平成25年11月20日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	中国(2)、 ブラジル (5)、タイ (2)、マレーシ	住宅を探す	住居について 希望や条件を 伝えることが できる	村上 洋子
21	平成25年11月27日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	中国(2)、 ブラジル (7)、タイ (2)、マレーシ	引越しする	引越しの際に 必要な手続き について学ぶ	犬塚 則子
22	平成25年12月4日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10人	中国(2)、 ブラジル (4)、タイ (2)、マレーシ	スピーチ	スピーチの書 き方を学ぶ	犬塚 則子
23	平成25年12月11日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	中国(2)、 ブラジル (5)、タイ (2)、マレーシ	スピーチ	スピーチコン テストで発表 するスピーチ の内容を考える	犬塚 則子
24	平成25年12月18日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	中国(2)、 ブラジル (5)、タイ (2)、マレーシ	スピーチ	スピーチ発表 の練習	犬塚 則子
25	平成26年1月8日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	中国(2)、 ブラジル (5)、タイ (2)、マレーシ ア(2)、アム	正月行事	一年の計画を 立てる 日本 の伝統的なお 正月行事を体 験する	犬塚 則子

26	平成26年1月15日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	中国(2)、 ブラジル (5)、タイ (2)、マレーシ ア(2)、アメリ	正月行事	おみくじの読み 方を学び、神 社に参拝する	犬塚 則子
27	平成26年1月22日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	中国(2)、 ブラジル (4)、タイ (2)、マレーシ ア(2)、アメリ	自分の意見 を言う	自分の考えや 意見が伝えら れるようになる	犬塚 則子
28	平成26年1月29日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	中国(2)、 ブラジル (4)、タイ (2)、マレーシ ア(2)、アメリ	医療機関で 治療を受け る	医者に自分の 症状を伝えら れるようにする	犬塚 則子
29	平成26年2月5日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	中国(2)、 ブラジル (7)、タイ (2)、アメリカ	医療機関で 治療を受け る	問診票の書き 方を学ぶ	犬塚 則子
30	平成26年2月12日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	中国(1)、 ブラジル (7)、タイ (2)、アメリカ (1)、マレーシ	薬の飲み方	医者でもらった 薬の飲み方が わかるようになる	犬塚 則子
31	平成26年2月19日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	ブラジル (7)、タイ (2)、アメリカ (1)、マレーシ	ごみ問題	小松市のゴミ の分別が正しく できるようにす る	犬塚 則子
32	平成26年2月26日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10人	ブラジル (7)、タイ (2)、アメリカ	ごみ問題	ゴミ処理場の 見学	犬塚 則子

(8) 受講者の募集方法

既存の学習者からの口コミ、チラシを作成し各種イベントでのPR、直接声かけ、国際交流関係諸団体への声かけなど。

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

- 7月24日 地域の図書館の利用方法などを事前学習で勉強した後、学習者の子どもたちも一緒に図書館へ行き、本や紙芝居の借り方を実践練習した。また、図書館で行われている子どもたちのための読み聞かせの会にも参加した。次回から自分たちで参加できるように、スケジュールを確認したり、日本人と交流を図ったりした。
- 9月25日 料理に必要な語彙を学習したのち、料理のレシピを確認し、実際に調理実習をした。簡易学習者からの簡単な日本料理という希望を取り入れ、おでんを作った。ゼロレベルの学習者も共に参加し、一緒に作ることを楽しんだ。



(10) 目標の達成状況・成果

ポートフォリオにより検証した結果、「地域の施設を利用できるようになった」や「学校行事がよく分かるようになった」、「お便りが少しわかるようになった」、「子どもたちの宿題の意味がわかるようになった」など概ねよい成果がでているようだ。図書館で絵本を借り、家庭で読み聞かせができるようになった学習者もいた。また、日本料理に興味を持つなど好評だった。

(11) 改善点について

地域に小さな子どもを持つ外国人のお母さんたちが多かったので、このクラスを新設した。実際に図書館へ行き利用の仕方を学習したり、保育園や学校から配布されるお便りを使って日本語を学ぶなど内容は子育てに必要な日本語に即しており良かったが、景気の回復に伴い子どもを保育園に預け派遣の仕事に就く学習者が、こちらの予想より多く、学習を中断してしまうお母さんたちが多かったのが非常に残念であった。

(1) 講座名称 「外国人お母さんのための生活に困らない日本語Ⅰ」 (ゼロクラス)

(2) 目的・目標 外国人お母さんたちが子育てをしていくうえで必要な日本語、またニーズに合った日本語を習得し、地域社会の一員として豊かな生活が送れるようにする。

(3) 対象者 日本語初級レベルの在住外国人

(4) 開催時間数(回数) 64時間 (全32回)

(5) 使用した教材・リソース 自作教材、みんなの日本語初級Ⅰ

(6) 受講者の総数 20人

(出身・国籍別内訳 中国 8人、台湾 2人、ブラジル 8人、アメリカ 1人、ハンガリー 1人)

(7) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名
1	平成25年7月3日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	15人	中国(6)、 ブラジル (6)、台湾 (2)、アメリカ	あいさつ	あいさつの種 類と目的を理 解する	大杉 桂子
2	平成25年7月10日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	15人	中国(6)、 ブラジル (6)、台湾 (2)、アメリカ	自己紹介	簡単な自己紹 介ができる	大杉 桂子
3	平成25年7月17日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	14人	中国(6)、 ブラジル (5)、台湾 (2)、アメリカ	時間	時間を言える。 時間が聞ける	大杉 桂子
4	平成25年7月24日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	15人	中国(6)、 ブラジル (6)、台湾 (2)、アメリカ	目的地に移 動する	往来動詞が使 えるようになる	大杉 桂子
5	平成25年7月31日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	15人	中国(6)、 ブラジル (6)、台湾 (2)、アメリカ	目的地に移 動する	行きたい場所 に移動できる ようになる	大杉 桂子
6	平成25年8月7日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	14人	中国(6)、 ブラジル (5)、台湾 (2)、アメリカ (1)	動作が言え る	生活に必要な 食べる、飲む、 寝る、起きるな どの基本動詞 が使えるように	大杉 桂子
7	平成25年8月21日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	13人	中国(5)、 ブラジル (5)、台湾 (2)、アメリカ	買い物しよ う	スーパーで買 い物をする	大杉 桂子
8	平成25年8月28日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	15人	中国(6)、 ブラジル (6)、台湾 (2)、アメリカ	郵便局へ行 こう	郵便局で切手 を買ったり、荷 物を送ったりす る	大杉 桂子
9	平成25年9月4日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	15人	中国(6)、 ブラジル (6)、台湾 (2)、アメリカ	銀行へ行こ う	銀行でお金を 出したり、送金 したりする方法 を知る	大杉 桂子

10	平成25年9月11日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	15人	中国(6)、 ブラジル (6)、台湾 (2)、アメリカ	料理をつく ろう	料理に必要な 言葉を知る①	大杉 桂子
11	平成25年9月18日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	14人	中国(5)、 ブラジル (6)、台湾 (2)、アメリカ	料理をつく ろう	料理に必要な 言葉を知る②	大杉 桂子
12	平成25年9月25日 9:30~11:30	2時間	芦城センター	15人	中国(6)、 ブラジル (6)、台湾 (2)、アメリカ	料理をつく ろう	実際に説明を 聞きながら日 本の料理を作 る	大杉 桂子
13	平成25年10月2日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	14人	中国(5)、 ブラジル (6)、台湾 (2)、アメリカ	物品を購入 する	店員に商品に ついて尋ねる ことができる	大杉 桂子
14	平成25年10月9日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	14人	中国(5)、 ブラジル (6)、台湾 (2)、アメリカ	物品を購入 する	商品の機能や 値段をきくこ とができる	大杉 桂子
15	平成25年10月16日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	14人	中国(5)、 ブラジル (6)、台湾 (2)、アメリカ	物品を購入 する	必要なもの を選んで購入 する	大杉 桂子
16	平成25年10月23日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	13人	中国(5)、 ブラジル (5)、台湾 (2)、アメリカ	非常のとき に	消防署に行く 前の事前学習	大杉 桂子
17	平成25年10月30日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	13人	中国(5)、 ブラジル (5)、台湾 (2)、アメリカ	非常のとき に	電話のかけ方 の練習と、応 急手当の方法 を学ぶ	大杉 桂子
18	平成25年11月6日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	中国(5)、 ブラジル (3)、アメリカ (1)、台湾	応急手当	119に電話す るときの電話 のかけ方	大杉 桂子
19	平成25年11月13日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	中国(5)、 ブラジル (3)、アメリカ (1)、台湾 (2)、ハンガ	応急手当	消防署で防災 について聞く	大杉 桂子
20	平成25年11月20日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	中国(5)、 ブラジル (3)、アメリカ (1)、台湾 (2)、ハンガ	住宅を探す	必要な語彙 や、住みたい 家の希望が言 えるようにす る	大杉 桂子
21	平成25年11月27日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10人	中国(5)、 ブラジル (2)、台湾 (2)、ハンガ	引越しをし る	部屋にあるも のを言えるよ うにする	大杉 桂子 村上 洋子
22	平成25年12月4日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	中国(6)、 ブラジル (2)、台湾 (2)、ハンガ	レストランを 探す	道案内がわか るようにす る	大杉 桂子
23	平成25年12月11日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	中国(6)、 ブラジル (3)、台湾 (2)、ハンガ	レストランで 食事をしよ う	メニューを見て 注文できるよ うにする	牧本 暢子
24	平成25年12月18日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	中国(6)、 ブラジル (3)、台湾 (1)、ハンガ リー(1)	プレゼントを する	クリスマスのプ レゼントをあげ たりもらったり するときの言い 方を学ぶ	大杉 桂子
25	平成26年1月8日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10人	中国(6)、 ブラジル (3)、ハンガ リー(1)	お正月行事	日本の伝統的 なお正月の行 事を理解し、体 験する	大杉 桂子
26	平成26年1月15日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	中国(6)、 ブラジル (3)、台湾 (1)、ハンガ	お正月行事	おみくじにつ いて知り、みな んで神社に行く	大杉 桂子

27	平成26年1月22日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	中国(6)、 ブラジル (3)、台湾 (1)、ハンガ	自分の意見 を言う	自分の考えや 意見が伝えら れるようになる	大杉 桂子
28	平成26年1月29日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10人	中国(6)、 ブラジル (2)、台湾 (1)、ハンガ	医療機関で 治療を受け る	医者に自分の 症状を伝えら れるようにする	大杉 桂子
29	平成26年2月5日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	中国(6)、 ブラジル (2)、台湾 (1)、ハンガ	医療機関で 治療を受け る	問診票の書き 方を学ぶ	大杉 桂子
30	平成26年2月12日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	中国(6)、 ブラジル (3)、台湾 (1)、ハンガ	薬の飲み方	医者でもらった 薬の飲み方が わかるように なる	大杉 桂子
31	平成26年2月19日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	中国(6)、 ブラジル (3)、台湾 (1)、ハンガ	ごみ問題	小松市のゴミ の分別が正し くできるように する	大杉 桂子
32	平成26年2月26日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	10人	中国(6)、 ブラジル (2)、台湾 (1)、ハンガ	ごみ問題	ゴミ処理場の 見学	大杉 桂子

(8) 受講者の募集方法

既存の学習者からの口コミ、チラシを作成し各種イベントでのPR、直接声かけ、国際交流関係諸団体への声かけなど。

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

7月24日

地域の図書館の利用方法などを事前学習で勉強した後、学習者の子どもたちも一緒に図書館へ行き、本や紙芝居の借り方を実践練習した。また、図書館で行われている子どもたちのための読み聞かせの会にも参加した。

9月25日

次回から自分たちで参加できるようにスケジュールを確認したり、日本人と交流したりした。簡単な日本料理という学習者の希望を取り入れ、おでんを作った。初級学習者も共に参加し、一緒に作ることを楽しんだ。



(10) 目標の達成状況・成果

初級クラスと同様ポートフォリオにより検証をしたが、ゼロレベルのためか反応がなく検証が難しかった。「生活者としての外国人」に対する日本語教育における日本語能力評価を基にオリジナルのポートフォリオやアンケートなどを作成し、母国語に翻訳して検証するなど、ゼロレベルの学習者に対する検証方法を検討する必要がある。

図書館や、料理のような授業は楽しかったようだが、やはり、ほとんど話せないレベルなのでしっかり基礎的なことを、継続して教えていく必要がある。

(11) 改善点について

このクラスも、外国人おかあさんたちが安心して学習できるよう託児を設け、新設した日本語クラスであったが、初級クラス同様、景気の回復に伴い仕事に就いてしまうおかあさんたちが多く学習者の出入りが激しかった。ゼロレベルの出入りが激しいと、内容がどうしても複式にならざるを得ず、対応が難しかった。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称 「日本語講師養成講座」

(2) 目的・目標 新規日本語講師の養成

(3) 対象者 興味のある方なら誰でも

(4) 開催時間数(回数) 29時間 (全10回)

(5) 使用した教材・リソース 講師による自作のハンドアウト(毎回)、『みんなの日本語』初級 I (6~9回)

(6) 受講者の総数 21人

(出身・国籍別内訳 日本 21人)

(7) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成25年7月 5日 9:30~12:30	3時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	日本(12人)	「日本語ってどんなことば？」	対照言語学：他の言語と比較して、日本語のむずかしいところやさしいところを知る。外国語として日本語を勉強する人たちの気持ちを理解	本田 弘之	吉田 良恵
2	平成25年7月 12日 9:30~12:30	3時間	こまつまちづくり 交流センター	12人	日本(12人)	「日本語の文法」のしくみ	日本語構造論：語をどのように組み立てて文をつくるのか。特に初級で必要な項目は、助詞の機能の理解と運用、動詞の変化形(活用)で	本田 弘之	吉田 良恵
3	平成25年7月 19日 9:30~12:30	3時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	日本(11人)	「日本語の文型」について考える	日本語を教えるときに使われる「文型」という概念を理解する。初級で扱う文型の種類と意味、機	本田 弘之	吉田 良恵
4	平成25年7月 26日 9:30~12:30	3時間	こまつまちづくり 交流センター	6人	日本(6人)	「日本語の発音と話し方」を意識する	日本語音声学：日本語にはどのような発音やアクセントが使われているのかを知る。非母語話者が難しいと感じる部分、日本人が教えるとき見落としがちなポイントを理解す	本田 弘之	吉田 良恵

5	平成25年8月 2日 9:30~12:30	3時間	こまつまちづくり 交流センター	11人	日本(11 人)	「日本語の おしえかた」 を考える	日本語教授 法:地域の日 本語教室で おこなわれ ている教室 型と交流型 の日本語レ ッスンにつ いて、その 理論的な背 景を学ぶ。	本田 弘之	吉田 良恵
6	平成26年1月 10日 9:30~12:30	3時間	こまつまちづくり 交流センター	17人	日本(17 人)	「日本語の おしえかた」 を考える2	日本語教授 法:新たな受 講者が加わ ったので、 前回の復習 をおこない 、日本語を 教える方法 について、 その概略と 理論的背景 を説明。	本田 弘之	吉田 良恵
7	平成26年1月 17日 9:30~12:30	3時間	こまつまちづくり 交流センター	18人	日本(18 人)	「どんなこと を、どのよう な順番でお しえるか」	シラバス:日 本語を教え るときに使 われる各種 のシラバス について考 え、学習項 目をどのよ うな順番で ならべてい くかを『み んなの日本 語』を例に とって考 える。	本田 弘之	吉田 良恵
8	平成26年1月 24日 9:30~12:30	3時間	こまつまちづくり 交流センター	17人	日本(17 人)	「文例をつ くってみよ う」	代表的な文 型をいくつ かとりあげ 、それぞれの 文型を教え るときに、 注意しなけ ればならな いことを考 える。それ にもとづき 自分で文例 をつくって みる。	本田 弘之	吉田 良恵
9	平成26年1月 31日 9:30~12:30	3時間	こまつまちづくり 交流センター	16人	日本(16 人)	授業の前に 準備すること	教案と練習 ドリル、タ スクをつく ってみる。『 みんなの日 本語』14課 を例にとつ て、60分の レッスンを どのように デザインす るか考 える。その 時に教える ことを表に してみる。 どのような ドリルやタ スクが考 えられるか 、実際に作 ってみる。	本田 弘之	吉田 良恵
10	平成26年2月 2日 9:30~11:30	2時間	こまつまちづくり 交流センター	14人	日本(14 人)	クラス見学	小松市国際 交流協会で 実際に行わ れているグ ループクラ スを見学す る		吉田 良恵

(8) 受講者の募集方法

市の広報誌、小松市国際交流協会のフェイスブック、チラシを作成し声かけなど。

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

1回~5回までは、言語としての日本語について、特に非母語話者に教える際に知っておかなければならないことを、講義形式で授業した。6回~9回は、小松市国際交流協会でも使用している教科書『みんなの日本語』を例にとって、具体的に授業をするときの事前準備の仕方を自分たちで実際に作業をしながら考えていく演習(実習)形式で授業をした。10回目、は小松市国際交流協会で行われているクラスを見学し、実際のクラスの雰囲気を感じてもらった。



(10) 目標の達成状況・成果

今講座は講師の都合上、前期・後期に分けて実施するかたちとなった。前期、後期と継続して受講する人もいたが後期から新たに受講する人が多く、講師の柔軟な対応が求められた。

受講者たちのモチベーション維持や今後、日本語講師としての活躍の場があるということを示す意味でも来年度、続編の日本語講師養成講座を開催することを決め、受講者にはその旨案内をした。来年度も継続して養成講座を受講し、新たな日本語講師となってくれることを期待する。

(11) 改善点について

時間数が少なく、実践的に教えるには経験が必要なので模擬授業を含めた講座を継続していく必要がある。クラスで実際に教えるとなると学習者のレベルが色々あるので難しいと実感し、講師として残る人が少なくなるのが現状である。

- (1) 講座名称 「日本語講師養成講座Ⅱ」
- (2) 目的・目標 新規日本語講師の養成
- (3) 対象者 「みんなの日本語Ⅰ」程度の教え方を既習の方
- (4) 開催時間数(回数) 30時間 (全10回)
- (5) 使用した教材・リソース みんなの日本語初級Ⅱ
- (6) 受講者の総数 10人
(出身・国籍別内訳 日本 10人)
- (7) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成25年8月 21日 13:00~16:00	3時間	こまつまちづくり 交流センター	6人	日本(6人)	文字指導	日常よく使わ れる漢字につ いて考え、教え 方を考えていく	グラッシ 徳 子	吉田 良恵
2	平成25年8月 28日 13:00~16:00	3時間	こまつまちづくり 交流センター	10人	日本(10 人)	初級後半で の動詞の特 徴①	初級後半での 意味や音が似 ている言葉、同 じ言葉でも意 味が違う言葉 などの教え方	グラッシ 徳 子	吉田 良恵
3	平成25年9月 4日 13:00~16:00	3時間	こまつまちづくり 交流センター	9人	日本(9人)	初級後半で の動詞の特 徴②	初級後半での 抽象的な言葉 の教え方	グラッシ 徳 子	吉田 良恵
4	平成25年9月 11日 13:00~16:00	3時間	こまつまちづくり 交流センター	10人	日本(10 人)	初級後半で の文型の特 徴①	初級前半と後 半とで習った文 型と類似する 文型の比較	グラッシ 徳 子	吉田 良恵
5	平成25年9月 18日 13:00~16:00	3時間	こまつまちづくり 交流センター	9人	日本(9人)	模擬授業の 準備	次週の模擬授 業のための準 備	グラッシ 徳 子	吉田 良恵
6	平成25年9月 25日 13:00~16:00	3時間	こまつまちづくり 交流センター	7人	日本(7人)	模擬授業	各グループか ら代表者が模 擬授業を行 い、みんな でフィード バックを行 う	グラッシ 徳 子	吉田 良恵
7	平成25年10月 2日 13:00~16:00	3時間	こまつまちづくり 交流センター	7人	日本(7人)	初級後半で の文型の特 徴②	状況や心情に 応じて話し手 がどの文型を 使うかを判断し その教え方①	グラッシ 徳 子	吉田 良恵
8	平成25年10月 9日 13:00~16:00	3時間	こまつまちづくり 交流センター	8人	日本(8人)	初級後半で の文型の特 徴③	状況や心情に 応じて話し手 がどの文型を 使うかを判断し その教え方②	グラッシ 徳 子	吉田 良恵
9	平成25年10月 16日 13:00~16:00	3時間	こまつまちづくり 交流センター	7人	日本(7人)	模擬授業の 準備	次週のため模 擬授業のため の準備	グラッシ 徳 子	吉田 良恵
10	平成25年10月 23日 13:00~16:00	2時間	こまつまちづくり 交流センター	7人	日本(7人)	模擬授業	自分たちが学 習者となって順 番に模擬授業 を行いフィード バックを行う	グラッシ 徳 子	吉田 良恵

- (8) 受講者の募集方法
市の広報誌、小松市国際交流協会のフェイスブック、チラシを作成し声かけなど。

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

8月21日 文字指導

実際に学習者が日常生活でふれるであろうと思われる文字を考えてみる。小松市の場合は就労者も多いので就労関係の漢字も考えてみる。

次にその必要であろうと思われる漢字をどうやって教えていくかをみんなで考えていく。その際、見て分かればよい漢字なのか書けなければいけない漢字なのかも考える。

それから、実際どのようにして使われ、なぜ必要なかをどう伝え学習を進めていくかを考える。最後にグループから代表者に発表してもらい、フィードバックをし、検証する。

10月16日 模擬授業

実際に教える立場も重要ではあるが、今度は自分が学習者の立場になってみたら全体にどんな感じの授業が良いのだろうかということを体感してもらう。教える立場での経験も必要ではあるが、自分が学習者になり実際に授業を受けることによって見えていなかった部分が見えてきたようだ。導入の仕方や説明の仕方、練習の仕方などわかりやすい役に立つ実際の日本語とはどういうものなのかを考えることができた。



(10) 目標の達成状況・成果

グループクラスでの模擬授業で実際に教え体感することにより講義だけでは伝えきれなかったことや、わからなかった点を感じ取ることができた。また、日本語が全然わからなかった学習者と次第にコミュニケーションが取れるようになり、もっと学習者との距離が縮まり、本当に何が学習者にとって必要なかを考えられるようになった。

(11) 改善点について

時間数が少なく、実践的に教えるには経験が必要なのでこれを継続していく必要がある。クラスで実際に教えるとなると学習者のレベルが色々あるので難しいと実感し、講師として残る人が少なくなるのが現状である。

(1) 講座名称 「スキルアップ講座Ⅱ」

(2) 目的・目標 昨年度養成講座を終了した人たちの更なるレベルアップ

(3) 対象者 ボランティア歴3年以上の昨年度スキルアップ講座受講者

(4) 開催時間数(回数) 30時間 (全30回)

(5) 使用した教材・リソース 講師の自作教材

(6) 受講者の総数 5人

(出身・国籍別内訳 日本 5人)

(7) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名
1	7月3日	1時間	こまつまちづくり交流センター	5人	日本(5人)	カリキュラム	年間を通してのカリキュラムを考える	村上 洋子 グラッシ 徳子

2	7月3日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	5人	日本(5人)	クラス授業	人数が多いク ラスでの教室 活動の留意点	村上 洋子 グラッシ 徳子
3	7月3日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	5人	日本(5人)	教案	各回の教案の 書き方	村上 洋子 グラッシ 徳子
4	7月9日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	5人	日本(5人)	あいづち	学習目標、学 習項目、語彙	村上 洋子 グラッシ 徳子
5	7月11日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	5人	日本(5人)	あいづち	授業の流れ、 教案作成	村上 洋子 グラッシ 徳子
6	7月16日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	5人	日本(5人)	図書館の利 用	地域の図書館 の利用方法	村上 洋子 グラッシ 徳子
7	7月23日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	5人	日本(5人)	図書館の利 用	授業の流れ、 教案作成	村上 洋子 グラッシ 徳子
8	7月30日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	5人	日本(5人)	音読	擬音語、擬態 語、特殊音の 練習	村上 洋子 グラッシ 徳子
9	8月6日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	5人	日本(5人)	音読	授業の流れ、 教案作成	村上 洋子 グラッシ 徳子
10	8月20日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	5人	日本(5人)	劇	劇の台本を考 える	村上 洋子 グラッシ 徳子
11	8月27日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	4人	日本(4人)	劇	大道具、小道 具、衣装の作 り方	村上 洋子 グラッシ 徳子
12	9月3日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	5人	日本(5人)	料理	料理の語彙、 作り方の教案	村上 洋子 グラッシ 徳子
13	9月17日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	5人	日本(5人)	料理	授業の流れ、 料理の試作	村上 洋子 グラッシ 徳子
14	9月24日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	5人	日本(5人)	学校のお便 り	学校行事の調 査、語彙の確 認	村上 洋子 グラッシ 徳子
15	10月1日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	5人	日本(5人)	学校のお便 り	授業の流れ、 教案作成	村上 洋子 グラッシ 徳子
16	10月3日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	5人	日本(5人)	非常のとき に	消防本部との 打ち合わせ	村上 洋子 グラッシ 徳子
17	10月8日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	5人	日本(5人)	非常のとき に	授業の流れ、 教案作成	村上 洋子 グラッシ 徳子
18	10月21日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	4人	日本(4人)	応急手当	消防本部との 打ち合わせ	村上 洋子 グラッシ 徳子
19	11月5日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	4人	日本(4人)	応急手当	授業の流れ、 教案作成	村上 洋子 グラッシ 徳子
20	11月12日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	5人	日本(5人)	俳句	季語の確認、 俳句鑑賞	村上 洋子 グラッシ 徳子
21	11月19日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	5人	日本(5人)	俳句	授業の流れ、 教案作成	村上 洋子 グラッシ 徳子
22	11月26日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	5人	日本(5人)	スピーチ	スピーチの書 き方	村上 洋子 グラッシ 徳子
23	12月3日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	5人	日本(5人)	スピーチ	スピーチの発 表の仕方	村上 洋子 グラッシ 徳子

24	12月10日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	5人	日本(5人)	お正月行事	かるた、百人 一首、福笑い、 おみくじなど	村上 洋子 グラッシ 徳子
25	12月17日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	5人	日本(5人)	お正月行事	授業の流れ、 教案作成	村上 洋子 グラッシ 徳子
26	平成26年 1月14日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	5人	日本(5人)	CM	コマーシャルの 分析	村上 洋子 グラッシ 徳子
27	1月21日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	5人	日本(5人)	CM	コマーシャルの 紹介の仕方	村上 洋子 グラッシ 徳子
28	1月28日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	5人	日本(5人)	CM	コマーシャルの 作り方	村上 洋子 グラッシ 徳子
29	2月4日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	5人	日本(5人)	CM	授業の流れ、 教案作成	村上 洋子 グラッシ 徳子
30	2月13日	1時間	こまつまちづくり 交流センター	5人	日本(5人)	まとめ	クラス運営をし てみて、反省 点等	村上 洋子 グラッシ 徳子

(8) 受講者の募集方法

受講対象を昨年度日本語講師養成講座受講者と限定した為、直接声をかけて募集した。

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

7月3日

年間を通したカリキュラムを考える。具体的には図書館の利用の仕方、消防署との協力、市役所との協力、日本語教室のCM作成などの案が検討された。

11月26日

昨年行ったスピーチ大会を今年度もしてほしいとの要望があり、作文指導の仕方を学びスピーチの原稿を書くにあたり、どのような点に注意したらいいかを考えた。



(10) 目標の達成状況・成果

日本語指導力ポートフォリオや研修受講の記録により検証した結果、より実践的・具体的な内容でとても勉強になった、という意見が多かったが一人でクラス運営をするにはまだ自信がないようである。

また、授業を行うことだけで手一杯で地域や外国人の状況の把握ができていない、という問題点が明らかになった。今後は教室活動だけではなく、地域や外国人の状況把握や日本語教室の運営ことなども意識をして指導できるよう育成を継続していく。

(11) 改善点について

この講座は昨年「日本語講師養成講座」を終了した人たちを対象に、実際に授業を行うための教案作りを中心に行った。また、行事を行う際の計画や準備など、授業がスムーズに行えるようにどのような配慮をしなければならないかも考える時間となった。基礎的な養成講座を終了した人たちのみが対象であった為人数が限られていた。今後、養成講座を終了した人たちを随時育成する方法を考えていかなければならないし、その人達の活躍の場も提供していくことを検討しなければならない。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

- (1) 教材名称 「手をつなごう！」
- (2) 対象 子どもを持つお母さんのための教材(初級)、及び、上級者向け教材
- (3) 目的・目標 子どもを持つお母さんたちが、学校行事や、学校の宿題で困ることがないように、また、地域の施設の利用や、日本料理の作り方、災害や救急なども取り上げ、日本での生活がスムーズにできるようにする。
- (4) 構成・総ページ数 12章
- (5) 教材作成会議の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年9月3日 13:30~16:30	3時間	こまつまちづくり 交流センター	本田 弘之 村上 洋子 犬塚 則子 大杉 桂子 中村 知恵 牧本 暢子	教材の対象者、取り上げるべき項目	今年度の教材作成について、どのような項目を取り上げ、どのような内容にするかを検討
2	平成25年11月 20日 15:00~17:00	2時間	こまつまちづくり 交流センター	本田 弘之 村上 洋子 犬塚 則子 大杉 桂子 中村 知恵 牧本 暢子	中間発表	作成中の教材の進行状況の確認と、全体の書式の統一などを検討
3	平成26年1月 31日 14:00~17:00	3時間	こまつまちづくり 交流センター	本田 弘之 村上 洋子 グラッシ 徳子 犬塚 則子 大杉 桂子 中村 知恵 牧本 暢子	最終確認	出来上がった教材の最終チェック

- (6) 使い方
全体で12章からなる。2、3、5、6、8章は特に小さい子どもを持つ親が、日常生活に困らないように作成されている。この項目については、初級レベルから使えるようになっている。
9、11、12章は上級者向けの、俳句や、CM作成になっている。
- (7) 具体的な活用例
すべての項目について、具体的な授業のすすめ方の教案を添付した。
- (8) 成果物の添付

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

小松地区唯一の日本語教室開催地として、在住外国人が日本でも豊かな生活が送れ、多文化共生社会の推進が図れるよう引き続き在住外国人の日本語力向上を目指し生活に密着した、より実践的な日本語教室を開催し、在住外国人が地域参加できるよう推進する。
そのためにも日本語指導者のスキルアップ及び新規指導者の養成を図るものである。更に今年度は小さなお子さんを抱えたおかあさんたちの現状にあった、日本で子育てをしていくうえで必要な日本語教育を行い、そのための教材・教案の作成も行う。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

地域で開催される交流会に参加したり、コンテストに出品したり、製作したCMを投稿したりと地域住民と同じように地域のいろいろな活動に参加することができた。また、小さなお子さんを持つおかあさんクラスでは、図書館などの地域の施設が利用できるようになったり、消防署では子どもによくある誤飲、やけど、けいれん、止血などの応急手当を学ぶなど子育てをしていくうえで必要な日本語を習得することができ、一定の成果があった。

今後も積極的に地域活動に参加して交流を図り、在住外国人と地域住民が顔の見える関係づくりができるよう、またおかあさんたちは日本人のおかあさんたちと交流し、情報交換などができるような関係づくりを目指し日本語教育を推進していきたい。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

昨年7月に大雨が降り避難勧告が出されたにもかかわらず、外国人の避難がほとんどなかった。その為消防署と協力し、災害時の避難場所や、避難の仕方の確認をした。またPM2.5の注意喚起情報や、インフルエンザの流行、牡蠣によるノロウィルスなど、多くの問題が発生したが、その都度、小松市国際交流協会のFACEBOOKで情報を発信した。日本語教室に来ている学習者には情報の伝達がより早くできるようになり、十分な成果が感じられた。今後の課題としては、勉強に来ていない地域の外国人にもっと情報が伝えられるように、広く日本語教室の存在をアピールして行く必要があると思われる。

またこのカリキュラム案は、初級レベルにはなかなか難しい面もあるので、日本語上級レベルの人たちが一緒になって、手助けをしてくれるようになることが望まれる。

(4) 地域の関係者との連携による効果, 成果 等

昨年に引き続き今年度も消防署にご協力いただき災害時の対応や応急手当について学んだ。誤飲の対処の仕方では人形を使って実際にやってみたり、学習者が住んでいる地域の避難場所を確認したりと実践的に学ぶことができ好評であった。また、図書館などの施設の利用方法を体験したり小松市主催のコンテストに応募したりと地域住民と同じようにいろいろな活動に参加するよう心がけた。小さなお子さんがいるおかあさんはその後、図書館を利用し、家庭で絵本の読み聞かせをするなどの嬉しい成果も見られた。今後も積極的に地域と連携し、関係づくりに努めていきたい。

(5) 改善点, 今後の課題について

小松市在住外国人の約80%が就労目的の滞在のため、景気の動向に影響される傾向にある。仕事が無くなると他府県へ移動したり、子どもを保育園へ預け、すぐに働きにでたりすることが多く、学習を継続できない環境にあることが課題である。複数年受講している学習者もいるため、学習の内容については重複しないよう今後も配慮が必要である。

また、人材育成に関しては、養成講座を受講しても講師として残ってくれる人は多くないが、今後も定期的に養成講座を開催したり、外部の研修に参加したりなどして既存講師のスキルアップや新規講師の育成を図っていく必要がある。

(6) その他参考資料

- ①指導力評価(スキルアップ講座受講者)
- ②研修受講の記録(スキルアップ講座受講者)

1. 指導力評価に関する項目の表示について

【ボタン①】チェック項目のみ表示する

【ボタン②】全ての項目を表示す

2. コメント欄の表示について

【ボタン③】チェック項目のコメント欄を表示する

【ボタン④】コメント欄を隠す

Plan-Do- Check-Actionの別	対象例		評価の記録			
	指導者	コーディネーター	選択項目	① 7月28日	② 11月17日	③ 2月9日
指導力評価項目						

Plan(企画)

I 地域や外国人の状況の把握

1. 地域の外国人の状況の把握

(1) 地域の外国人の状況や学習者の状況を把握している

1) 地域の外国人の増減とその理由を把握している		○	<input type="checkbox"/>			
2) 学習者がこれまでに日本語学習をどの程度行っているか把握している	○	○	<input checked="" type="checkbox"/>	△	△	○
3) 学習者がこれまでに言語学習をどの程度行っているか把握している	○	○	<input type="checkbox"/>			
4) 学習者の年齢、職業、家族形態などを把握している	○	○	<input checked="" type="checkbox"/>	○	○	○
5) 学習者の学習環境（辞書やオーディオ機器・PCなどを所有しているか、日本語学習に協力してくれる人はいるか、どの程度日本語学習に時間を割けるかなど）を把握している	○	○	<input type="checkbox"/>			
6) 学習者の使用言語とその使用場面、日本語でのやり取りが求められる場면을把握している	○	○	<input checked="" type="checkbox"/>	△	△	○

(2) 学習者のニーズを把握している

7) 学習者が生活面で課題として抱えていることを「今できないと困ること」「今できるようにになりたいこと」「今後できるようにしたいこと」「いつかできるようにしたいこと」に分類するなどし把握している	○	○	<input checked="" type="checkbox"/>	△	△	○
8) 学習者が求める教室活動の方法や教材などを適切な方法で把握している	○	○	<input type="checkbox"/>			

2. 地域のリソース等の把握

(3) 地域のリソース等を把握している

9) 日本語教室に使える場所がどこにあるか把握している		○	<input type="checkbox"/>			
10) 協力してくれる機関がどこにあるか把握している		○	<input type="checkbox"/>			
11) 多言語での情報がどこにあるか把握している		○	<input type="checkbox"/>			
12) 指導者・協力者がどこにいるか把握している		○	<input type="checkbox"/>			
13) 通訳がどこにいるか把握している		○	<input type="checkbox"/>			
14) 地域の他の日本語教室の状況を把握している		○	<input type="checkbox"/>			
15) 他の地域の日本語教室の事例を把握している		○	<input type="checkbox"/>			

II 日本語教室の目的の設定・日本語教室の設置

3. 日本語教室の目的の設定

(4) 学習者の生活課題の解決に向けた日本語教室の目的を設定している

16) 地域の外国人の状況を踏まえた上で「具体的な学習者像」を設定し、そこから学習者の生活課題の解決に向けた日本語教室の目的を設定している		○	<input type="checkbox"/>			
17) 学習者の社会参加、エンパワメント*につながる日本語教室の目的を設定している		○	<input type="checkbox"/>			

4. 日本語教室の設置

(5) 地域の外国人の状況に応じた日本語教室を設置している

18) 地域の外国人が通いやすい時間と曜日に日本語教室を設置している		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>			
19) 地域の外国人や指導者・協力者が集まりやすいような場所に日本語教室を設置している		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>			
20) 日本語教室の場所では年少者、高齢者等の安全性を考慮している		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>			
(6) 行政・関係機関との連絡調整を行っている						
21) 日本語教室の設置に当たって、外国人に関する様々な情報交換を行ったり、地域住民の日本語教室への参加・協力を得たりすることなどのために、行政・関係機関との連絡調整を行っている		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>			

Ⅲ 具体的な日本語教育プログラムの作成

5. 学習内容の検討

(7) 学習内容について検討している

22) 学習者が生活面で課題として抱えていることについて、優先度が高いものを選択している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
23) 22)で選択したものに該当する生活上の行為をカリキュラム案から選択している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
24) 23)で選択した生活上の行為から、より具体的な事例を選択している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
25) 24)で選択した具体的な事例を基に、地域の実情や学習者の日本語のレベルに合わせた学習内容を検討している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
26) 学習者と指導者、協力者が互いの社会、文化について学び合えるような学習内容を検討している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
27) 日本での生活を長期的に見た場合に、今後学習者に必要になりそうな生活上の行為についても考慮している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

6. 学習順序の検討

(8) 学習順序について検討している

28) 学習者が生活面で課題として抱えていることについて、優先度を考慮して学習順序を設定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
29) 学習期間に区切りを付け、短期的・中期的な目標を立てている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

7. 学習時間の検討

(9) 学習時間について検討している

30) 学習者の日本語の習得の状況を考慮して日本語教育プログラムの総学習時間を設定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
31) 日本語の習得に時間がかかる学習者への対応を検討している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

8. 指導者・協力者の検討

(10) 指導者・協力者について検討している

32) 指導者と協力者の役割分担と協力体制を検討している		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
33) 必要な数の指導者と協力者を確保している		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

9. 教室活動の検討

(11) 行動・体験中心の教室活動について検討している

34) 日本語教室の体制や取り扱う生活上の行為に合わせて、行動・体験中心の教室活動を適切に組み合わせて実施するよう検討している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
35) 行動・体験中心の教室活動を行うために、「関係機関の協力を得ることができる」、「実体験を行うことができる」、「協力者の参加が得ることができる」、「視聴覚機器を利用することができる」などの条件を整えている		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
36) 地域や学習者の状況を考慮して教室活動をデザインしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(12) 教材・教具について検討している

37) 地域や学習者の状況に合わせて教材例集等を参考に教材・教具を検討している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
38) 地域の公共サービスや行事の案内、その他生活に必要な多言語での情報、地図・ちらし等の素材の活用を検討している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(13) 評価について検討している

39) 目的に対して適切な日本語教育プログラムを提供できたかどうか評価できるよう検討している		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
40) 日本語教育プログラムが結果として学習者の社会参加、エンパワメントにつながる内容になっているかどうかについて検討している		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Do(実施)

IV 各地域の実情に応じた日本語教育の実施

10. 日本語教室の運営

(14) 日本語教室の運営体制が適切である

41) 日本語教室の目的等を実施者の間で共有している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>			
42) 日本語教室の運営に必要な作業を洗い出し、実情に即した運営体制を作っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>			
43) 日本語教室に関する学習者の希望や意見を聞いている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
44) 日本語教室の場所や時間、日本語教育プログラムの内容について定期的に実施者の間で検討している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>			
45) コーディネーター、指導者、協力者の役割がそれぞれの間で理解され、十分にコミュニケーションが取れている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>			

(15) 教室活動に必要な指導者を育成している

46) 指導者を育成するための研修を企画・実施している		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>			
47) 外国人の指導者を育成するための研修を企画・実施している		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>			
48) 外部で行われている講座やセミナーの情報を集め、指導者に紹介している		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>			

(16) 日本語教室の意義や内容を伝えている

49) 地域住民の日本語教育への理解を得るため、日本語教室の意義や内容を広く社会一般に伝えている		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>			
50) 日本語教室の意義や内容が学習者に届きやすいように、周知の方法を工夫している		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>			

(17) 行政・関係機関との連絡調整を行っている

51) 日本語教室の運営に当たって、外国人に関する様々な情報交換を行ったり、地域住民の日本語教室への参加・協力を得たりすることなどのために、行政・関係機関と連絡調整を行っている		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>			
52) 学習者が日本語教室以外の他の組織・コミュニティ（自治会など）にも参加できるように案内をするなどの工夫をしている		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>			
53) 学習者の生活課題の状況に応じて学習者を必要な行政の相談窓口等につないでいる		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>			

(18) 教室活動の準備を行っている

54) 「生活者としての外国人」に対する日本語教育の目的と目標を十分に理解している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
55) 教室活動において使用する教材・教具を準備している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>			
56) これまでの教室活動の内容を踏まえて毎回の教室活動の内容を設定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>			
57) 教室活動の内容や時間配分、予定通りにいかなかったときの代案を考えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>			
58) 学習に市販の教材を使用する際には、著作物の取扱いを法律に沿って行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

11. カリキュラム案の理念に沿った日本語教育の実施

(19) 学習者の状況やニーズを踏まえた教室活動を行っている

59) 学習者が社会の一員として自立した生活を送ることができることを目指した教室活動を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
60) 学習者の生活課題の優先度が高い生活上の行為を取り上げ、教室活動を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>			
61) 学習者の状況や日本語のレベル、ニーズ、学習スタイルを考慮して教室活動を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>			
62) 教室活動を通して学習者の状況や日本語のレベル、ニーズを把握している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
63) 学習者に教室活動の目的を伝えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>			
64) 学習者から学習に関する相談を受ける仕組みを作っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>			

11. カリキュラム案の理念に沿った日本語教育の実施

(20) 行動・体験中心の教室活動を行っている

65) 学習者の生活場面に密着したコミュニケーション活動等、行動・体験中心の教室活動を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
66) 行動・体験中心の教室活動を行う際に、実物・イラスト・写真を活用するなどの工夫をしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>			

67)	行動・体験中心の教室活動を行う際に、協力者を教室に招くなどの工夫をしている	○	○	<input type="checkbox"/>			
68)	行動・体験中心の教室活動を行う際に、外に出て直接行動・体験するなどの工夫をしている	○	○	<input type="checkbox"/>			
69)	学習者が日本語を使って生活できるようになるだけでなく、更に地域住民等との人間関係が広がっていくように工夫している	○	○	<input checked="" type="checkbox"/>	△	△	○
70)	学習者が課題の達成を実感したり、達成できなかった場合の原因を理解したりできるように工夫している	○	○	<input type="checkbox"/>			

(21)対話による相互理解を促進している

71)	学習者、指導者、協力者が互いの社会、文化について学び合えるような教室活動を行っている	○	○	<input type="checkbox"/>			
72)	学習者同士が互いの社会、文化について学び合えるような教室活動を行っている	○	○	<input type="checkbox"/>			
73)	生活上の行為を取り上げ、日本の社会習慣やルールを説明する際、学習者に対する規範の押し付けとならないよう考慮している	○	○	<input type="checkbox"/>			
74)	一方的に説明せず、学習者にとって話しやすい雰囲気を作っている	○	○	<input checked="" type="checkbox"/>	△	○	○
75)	学習者の日本語のレベルに合わせて、適切な話題を提供している	○	○	<input checked="" type="checkbox"/>	○	○	○
76)	対話による教室活動が円滑に進まないとき、やさしい言葉で言い換えるなど、対話を促進するための支援を工夫している	○	○	<input type="checkbox"/>			

(22)専門家や地域住民と協働している

77)	教室活動に必要な情報や不明なことは、自ら調べたり、その分野に詳しい専門家の協力を得て解決を図っている	○	○	<input type="checkbox"/>			
78)	地域住民や日本での生活年数が長い外国人住民の協力や参加を得て、教室活動を行っている		○	<input type="checkbox"/>			

(23)地域・学習者に応じた教材・教具を工夫している

79)	学習者の状況に合わせて教材例集等を参考に教材・教具を工夫している	○	○	<input type="checkbox"/>			
80)	地域の公共サービスや行事の案内、その他生活に必要な多言語での情報、地図・ちらし等の素材を活用している	○	○	<input type="checkbox"/>			

12. 教室活動の記録・振り返り

(24)教室活動について記録している

81)	教室活動の内容を記録している	○	○	<input checked="" type="checkbox"/>	○	○	○
82)	教室活動における学習者の様子を記録している	○	○	<input type="checkbox"/>			
83)	教室活動の成果と課題を記録している	○	○	<input checked="" type="checkbox"/>	△	△	○
84)	学習者のプライバシーに配慮している	○	○	<input type="checkbox"/>			

12. 教室活動の記録・振り返り

(25)教室活動の記録を共有している

85)	教室活動の内容・学習者の様子・活動の成果・課題を関係者間で共有している	○	○	<input checked="" type="checkbox"/>	○	○	○
-----	-------------------------------------	---	---	-------------------------------------	---	---	---

(26)教室活動の記録を整理している

86)	教室活動の記録を分類して管理している		○	<input type="checkbox"/>			
87)	教室活動の記録を一括管理している		○	<input type="checkbox"/>			

(27)教室活動の振り返りをしている

88)	学習者が日本語学習ポートフォリオ（日本語能力評価）の「学習の記録」や「能力記述の一覧」等を参考にして、毎回の教室活動の振り返りができるよう支援している	○	○	<input type="checkbox"/>			
89)	日本語指導力ポートフォリオの「指導力評価に関するチェックシート」等を参考にして、自ら教室活動を振り返っている	○	○	<input type="checkbox"/>			

Check(点検)

V 日本語教育プログラムの点検

13. 日本語教育プログラムの状況の分析・課題の把握

(28) 日本語教室の運営について分析し、課題を把握している

90)	日本語教室の運営体制が適切であったかどうか分析し、課題を把握している		○				
91)	日本語教室に必要な指導者の育成が適切であったかどうか分析し、課題を把握している		○				
92)	日本語教室の意義や内容の発信が適切であったかどうか分析し、課題を把握している		○				
93)	行政・関係機関との連絡調整が適切であったかどうか分析し、課題を把握している		○				
94)	教室活動の準備が適切であったかどうか分析し、課題を把握している	○	○			○	○
95)	日本語教育プログラムが計画どおりに実施できたこと、できなかったことを分析し、課題を把握している	○	○				

(29) カリキュラム案の理念に沿った日本語教育の実施について分析し、課題を把握している

96)	学習者の状況やニーズを踏まえた教室活動が適切であったかどうか分析し、課題を把握している	○	○			△	△	○
97)	行動・体験中心の教室活動が適切であったかどうか分析し、課題を把握している	○	○					
98)	対話による相互理解の促進が適切であったかどうか分析し、課題を把握している	○	○					
99)	専門家や地域住民との協働が適切であったかどうか分析し、課題を把握している	○	○					
100)	地域・学習者に応じた教材・教具の工夫が適切であったかどうか分析し、課題を把握している	○	○					

(30) 教室活動の記録・振り返りについて分析し、課題を把握している

101)	教室活動の記録が適切であったかどうか分析し、課題を把握している	○	○					
102)	教室活動の記録の共有が適切であったかどうか分析し、課題を把握している	○	○					
103)	教室活動の記録の整理が適切であったかどうか分析し、課題を把握している	○	○					
104)	教室活動の振り返りが適切であったかどうか分析し、課題を把握している	○	○					

(31) 学習者・指導者・協力者の意見等を調査・分析し、課題を把握している

105)	学習者・指導者・協力者の意見や満足度を調査・分析し、課題を把握している		○					
------	-------------------------------------	--	---	--	--	--	--	--

(32) 分析の結果及び課題をまとめている

106)	(28)～(32)の分析の結果及び課題を、数字やグラフ等を利用して第三者にも伝えられるよう分かりやすくまとめている		○					
------	---	--	---	--	--	--	--	--

Action(改善)

VI 日本語教育プログラムの改善

14. 日本語教育プログラムの改善計画の作成・改善の実施

(33) 日本語教育プログラムの改善計画を検討している

107)	日本語教育プログラムの改善計画を検討する機会を設けている	○	○					
108)	実施した日本語教育プログラムの課題について解決策を複数検討している		○					
109)	日本語教育プログラムの改善計画に学習者の意見を反映している		○					
110)	他の日本語教室の事例や、自らのこれまでの取組を参考にして日本語教育プログラムの改善計画を検討している		○					
111)	日本語教育プログラムの改善計画において改善のための今後の具体的な内容・スケジュール・役割分担を明確にしている		○					

(34) 改善を実施している